

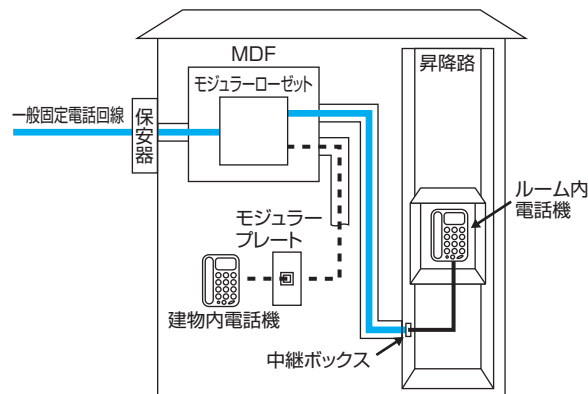
電話線との接続

警告 エレベーターのルーム内電話機用の電話回線は、必ず通線の上、通話できることを確認してください。

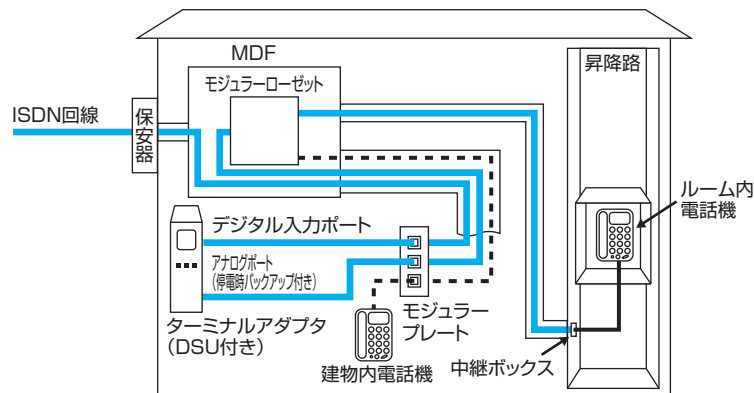
●エレベーターのルーム内には、外部連絡用の電話機が標準装備されています。この電話機は、万一ルーム内に閉じ込められた場合など、緊急時の連絡手段となりますので、ご使用になる前に建物側の電話回線と接続し、通話できることを必ず確認してください。
 なお、一般固定電話回線(NTTなどの固定電話回線)以外の回線をご契約の場合、ルーム内の電話機をご使用いただくために、各々下図に記載された機器の設置および回線接続をお願いしておりますので、お客様にて必要な機器をご用意ください。

電話回線接続図 - - - - 電気(電話)工事 ———— エレベーター工事

一般固定電話回線の場合

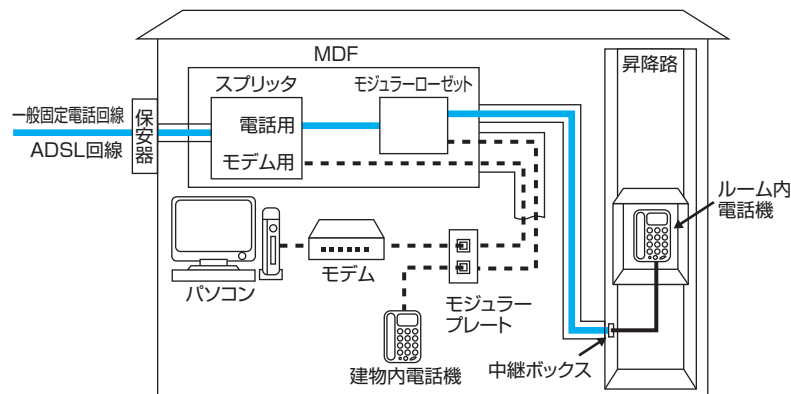


ISDN回線の場合



- TA(ターミナルアダプタ)を設置してください。
- ・DSU(デジタルサービスユニット)付き
- ・供給電圧48Vで極性反転のあるアナログポート付き
- ・停電時バックアップ付き
- ※停電時バックアップ用のバッテリーは定期的に交換してください
- エレベーター用回線の接続先は、停電時にバックアップされるアナログポートにしてください。

ADSL回線の場合



- スプリッタを設置してください。
- エレベーター用回線の接続先は、電話用ポートにしてください。

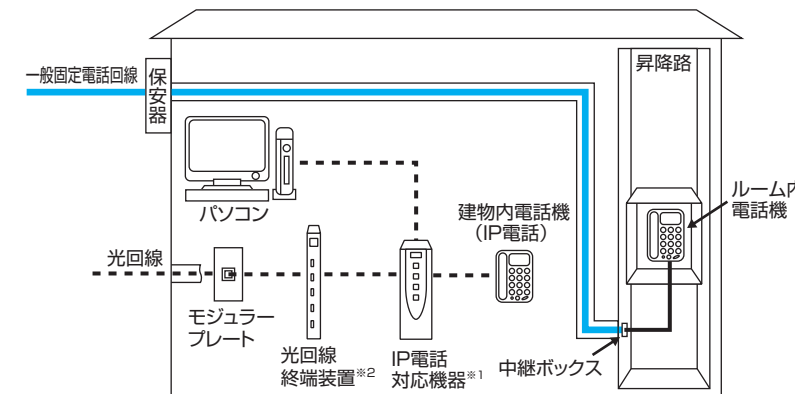
建物内でIP電話をご使用になる場合

警告 エレベーターのルーム内電話機用の電話回線は、必ず一般固定電話回線としてください。

●エレベーターの電話機は、緊急時の使用を想定し、停電時でも使用可能な一般固定電話回線(NTTなどの固定電話回線)専用としております。お客様にてブロードバンド回線(ADSL、光、CATVなど)のみをご契約され、IP電話をご使用される場合には、右記の理由により緊急時に電話機が使用できない場合があります。
 エレベーターを安全にご使用いただくために、必ず一般固定電話回線をご契約し、エレベーター内電話機へ接続してください。

※ルーム内の電話機へのIP電話使用はお控えください。

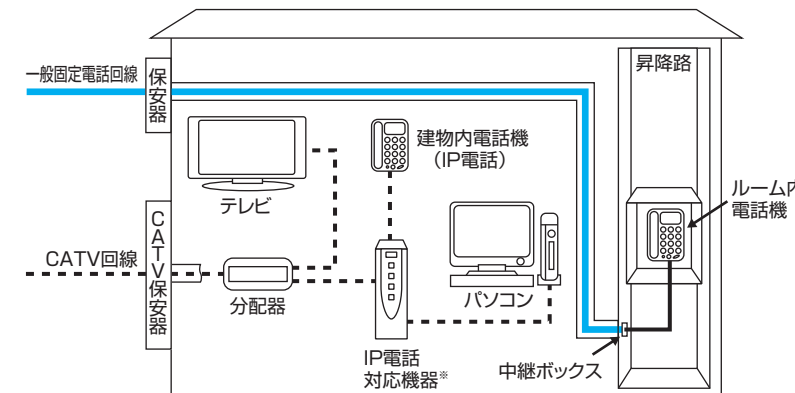
光回線(IP電話)の場合〔一般固定電話回線が必要です〕



○IP電話対応機器を経由せずに、指定の位置(55～59ページ参照)まで電話線を支給してください。

※1・2 左図の「IP電話対応機器」および「光回線終端装置」は、ご契約の通信事業者により機器の種類および接続方法が異なります。詳しくはご契約の通信事業者へお問合せください。

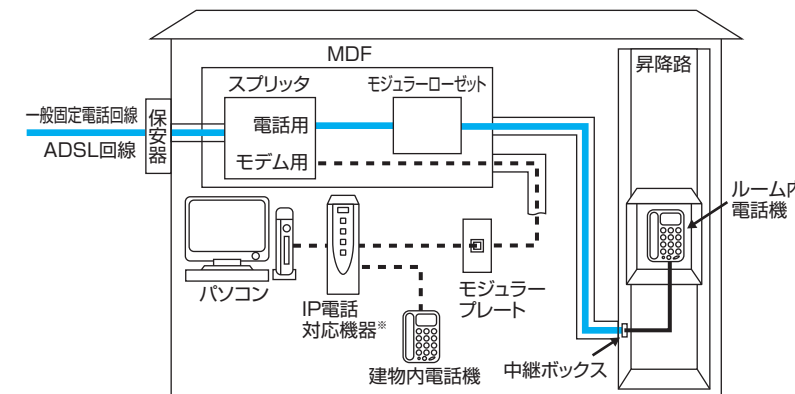
CATV回線(IP電話)の場合〔一般固定電話回線が必要です〕



○IP電話対応機器を経由せずに、指定の位置(55～59ページ参照)まで電話線を支給してください。

※左図の「IP電話対応機器」は、ご契約の通信事業者により機器の種類および接続方法が異なります。詳しくはご契約の通信事業者へお問合せください。

ADSL回線(IP電話)の場合〔一般固定電話回線が必要です〕



○IP電話対応機器を経由せずに、指定の位置(55～59ページ参照)まで電話線を支給してください。

○スプリッタを設置してください。
 ※左図の「IP電話対応機器」は、ご契約の通信事業者により機器の種類および接続方法が異なります。詳しくはご契約の通信事業者へお問合せください。